

提 言 書

平成 2 8 年 3 月 2 4 日

第 5 期鳥取市若者会議

第5期 鳥取市若者会議

会 長	北谷 萌		
副会長	浅井 真由		
メンバー	谷口 一真	下山 裕子	田中 藍
	浜本 佳奈	倉光 貴史	井上 さおり
	石川 淳史	清水 雅俊	吉岡 諄美
	吉田 侑浩	山口 風雅	

全体会議等開催経過

平成26年	6月28日	第1回全体会
平成26年	9月10日	リーダー会議
平成26年	7月26日	第2回全体会
平成27年	7月 3日	第3回全体会
平成28年	3月24日	成果発表会

若者会議（Aグループ）

■メンバー名簿 ◎グループリーダー ○サブリーダー

◎井上 さおり

○山口 風雅

谷口 一真 下山 裕子 浅井 真由 浜本 佳奈 清水 雅俊

■活動テーマ

鳥取に住む若者の増を目指す

■会議等開催実績

○グループ会議等

平成26年度 9月22日、10月27日、11月1日、11月26日、
1月21日、2月9日、2月26日、3月24日

平成27年度 4月11日、5月16日、6月16日、7月10日、8月5日、
9月18日、10月7日、12月21日、1月13日、1月20日、
2月8日、2月22日、3月7日、3月16日、3月23日

○活動内容（主なもの）

- ・鳥取大学、環境大学学生へ向けたアンケート調査
 - ・鳥取環境大学 起業部へのヒヤリング
 - ・COC、COC+の調査
- 等

鳥取市への提言書

鳥取に住む若者の増を目指す

■提言に至った経緯

私達、若者会議Aグループは、鳥取市に住む若者を増やすことを目的にいくつかの調査や聞き取りを行いました。

当初は仕事を増やすことばかりに注視しており、そのために鳥取市が行える政策とはという視点で調査等を行っていたのですが、他の自治体の状況なども調べていく中で鳥取市は企業誘致や移住定住の政策についてむしろ先進的な自治体であるということに気づき、それではその中で我々が若者からの視点で提案できるものとはどのようなものがあるかを考えていく中で、メンバーに非常に近い立場である、市外県外から鳥取市に進学してきた学生のほとんどが、卒業と同時に鳥取市を出ていく、という状況を改善することはできないかと考え、ひとまず、学生の意向を調査するためのアンケート及び聞き取り調査を行いました。

その結果、学生の多くは鳥取の産業等について知らないまま、4年ないし6年の学生生活を送り卒業先の進路として多く地元やいわゆる都会を選択するのではないかと、ということにたどり着き、学生が鳥取を知る機会を強力に作っていくというのが、比較的効果的な若者の定着促進につながると考えました。

事実、鳥取地域に興味があり積極性のある学生というのもいるが、彼らは自分たちで様々な場所に出向き学習をしており、その中の一部の学生が鳥取に残って生活を続けているのも間違いないが、これから何か新しい取り組みを始めて鳥取に関心を持たせようと思うのなら、アプローチすべきなのは地域に興味はあるが、行動するほどではない学生や、そもそも地域に関心がない学生であり彼らと地域が接する機会を作ることこそが効果的だと考えました。

その対象としては、すでにある程度進路や就職先についての意思を決めている3年以上の学生よりは、1, 2年生を対象とすることでより効果が得られるのではないかと考え、次のような事業を提案します。

■提言内容

1. 具体内容

○大学の教養課程における新規科目の設立

大学と行政、地域の連携を強化し大学生を初めとした若者が地域に出る機会、地域を知る機会を増やす講座の実施。

2. 提案先、その後の展望

既に鳥取市が参加している鳥取大学および鳥取環境大学の地（知）の拠点整備事業の中での提案として教養科目への地（知）の拠点整備事業関係の授業の設立を提案する。

鳥取大学にはすでに地（知）の拠点整備事業の一環として大山町、琴浦町などでフィールドワークを行い地域の問題についての理解を深めることなどを目的とした授業が設置されているが実習先との兼ね合い等で定員も少なく授業の内容に関心の強い学生のみが受講できるのが現状ということである

今回私たちが提案するものは専門性の強いものよりも広く様々な課題について学び検討をするための知識を得るためのものを想定している。

3. 科目構成案

科目名	地域産業入門		
配当年次	1-2年		
教員名	〇〇 〇〇、各自治体職員、事業所代表等		
授業の概要	キーワード：地域経済、地域産業、地域政策、地域環境 鳥取市を中心に地域の経済、産業、政策取り組み 地域で働く若者、		
到達目標	地域の状況を自らの目で体験することにより地域の現状や課題、その解決の糸口などを自ら発見する力を身につける。		
授業計画	1、オリエンテーション、鳥取の歴史的背景	オリエンテーション、鳥取市の地域的特色について	
	2、鳥取の人口、産業規模について	鳥取市の経済規模について	
	3、鳥取市の経済政策について	鳥取市で現在行われている地域経済支援政策について	
	4、近年の誘致企業	鳥取市で新規に事業を始めた企業と現状について	
	5-6、地域見学実習(旧市内)	旧市内の誘致企業をはじめとした企業見学	
	7、レポート総括補足等	提出済みレポートに関する補足等	
	8、鳥取の一次産業について	鳥取の一次産業の特徴について	
	9、新品種、ブランド、マーケティング	鳥取で生まれた新品種、県外フラグショップ等	
	10-11、地域見学実習(新市域)	新市域の誘致企業、一次産業等の見学	
	12、レポート総括補足等	提出済みレポートに関する補足等	
	13、鳥取の産業バランスについて	市内の各次産業のバランスと将来的な予想について	
	14、鳥取で働くということ	鳥取市で働く異業種のOB等を3~5名発表後は小グループでの質疑応答等	
	15、鳥取の経済	半期の復習を行う、授業後半はレポート作成時間とする	
	評価方法	各実習レポート及び最終レポートによる	
	教材	授業中に配布	

第五期鳥取市若者会議 成果発表会

Aグループ

目的

- 鳥取に住む若い世代を増やしたい
- 進学で鳥取に来た大学生に鳥取に残ってもらいたい

2016/2/11

テーマ

- 若者の定着について
 - 住む土地の選び方
 - 仕事
 - 子育て
 - 暮らしやすさ



調査等

- 自治体調査、企業・起業支援政策について
- 市内の学生アンケート

2016/2/23

回答書

1. 過去5年間の企業の起業・立地支援制度の実績について教えてください。

(件)	1021	1022	1023	1024	1025
起業支援					
立地支援					

※起業支援とは新入業者が新たに事業を開始する者に対する支援、立地支援とは既存の企業が新規に工場等を立ち上げることに伴う支援を想定しております。
 既存企業が、新業種に参入するというケースの場合可能でしたら起業支援の方で回答いただけますと幸いです。

2. 貴自治体の起業・立地支援制度のなかで特徴的な部分、実績に強く関連していると思われる部分があれば教えてください。

起業支援制度について

立地支援制度について

3. 貴自治体独自のアピールポイント等があれば教えてください。

(例)交通の便が良い、気候・天候、地産地消等々)

ご協力ありがとうございました。

自治体向アンケート
 送付先 12都道府県
 29市町村
 有効回答数 3都道府県
 16市町村

2016/5/23

鳥取市若者会議 大学生の生活・就職に関する意識アンケート

私たち鳥取市若者会議は、鳥取市に住む若者が主体となって、自ら考え、行動し、その成果を市政に活かすために意見・提言を行うことを目的とし鳥取市が設置している団体です。今回、その活動の一環として、鳥取で暮らす大学生の意識調査を行うことになりました。
 ご協力よろしくお願いいたします。

- 質問1. 大学で身に付けたいスキルはなんですか？
 1. 専門知識 2. コミュニケーション能力 3. リーダーシップ 4. 実行力
 5. 主体性 6. その他()
- 質問2. 現在実行していること・過去に経験のあることを教えてください
 1. ボランティア 2. アルバイト 3. 起業 4. 地域交流 5. 海外旅行・留学
 6. その他()
- 質問3. 関心のうち、今後経験したいことはなんですか？
 1. ボランティア 2. アルバイト 3. 起業 4. 地域交流 5. 海外旅行・留学
 6. その他()
- 質問4. 普段どの媒体から情報を得ていますか？
 1. テレビ 2. 新聞 3. インターネット 4. ラジオ 5. 本・雑誌 6. SNS
 7. ロコ 8. 大学からの情報 9. その他()
- 質問5. 鳥取市でのイベント情報をどのくらい気にしますか？
 1. とてもよく気になる 2. まあまあ気になる 3. あまり気にしない 4. 全く気にしない
- 質問6. 就職希望の土地はどこですか？
 1. 鳥取市 2. 鳥取市以外の鳥取県内 3. 出身地 4. 上記以外の都道府県
 5. 未定 6. その他()
- 質問7. (問6で1. 鳥取市を選んだ方)
 その理由を教えてください
 1. 地元だから 2. 住みやすいから 3. 志望企業が市内にあるから
 4. 生活費があまりからないから 5. その他()

質問に続きます

2016/5/23

質問8. (問6で1. 鳥取市以外の回答を選んだ方)
 その理由を教えてください

1. 地元ではないから 2. 交通が不便だから 3. 志望企業が市内に無いから
 4. 就業が少ないから 5. 医療・福祉等、公共サービスに不安があるから
 6. 給料が良いから 7. その他()

質問9. あなたが就職を希望する業種を教えてください

1. メーカー 2. 商社 3. 流通・小売業 4. 金融
 5. 不動産 6. IT/ITC 7. 農林水産業 8. 建設業 9. 医療・福祉
 10. 電気・ガス・水道業 11. 情報通信業 12. 運輸業 13. 飲食・宿泊業 14. 官公庁
 15. 教育・学習支援業 16. その他()

質問10. あなたが就職を希望する職種を教えてください

1. 一般事務・管理職 2. 営業職 3. 技術職
 4. 販売員 5. その他()

質問11. 鳥取市外で面白い場所について知っていれば教えてください

名称()
 場所()
 内容()

質問12. 鳥取市での生活の平満を教えてください(自由記述)

()

質問13. 鳥取市に暮めるところがあれば教えてください(自由記述)

()

学年【1・2・3・4年】

性別【男・女】

学部学科【

出身地【市内・県内・県外・(

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 鳥取市若者会議Aグループリーダー一井上さおり
 Mail:wakamonkaig@gmail.com

学生向アンケート
 有効回答
 531件(鳥取大学)

環境大学生聞き取り調査

- 鳥取環境大学起業部
 - 日時 平成28年1月20日（水） 19時～20時40分
 - 参加者 岩田直樹さん、松浦生さん



アンケート結果

- 学生は都会に就職したいと思っている → ×
- 知っている土地に就職したいという意向が強いのではないか



鳥取市に住む若者を増やすためには

- 学生に鳥取市のことを知ってもらう必要がある
 - 誰を知ってもらう？→商店街等、学生にその気があれば普段でも会いに行ける人
 - 鳥取市の産業を知ってもらう

2016/2/23

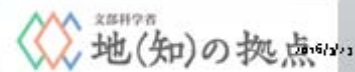
提案

- 鳥取市を学生の就職先の選択肢に入れるきっかけづくりのために鳥取市の産業を知ってもらうための授業を行う
 - ターゲット：1～2年生
- 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）

2016/2/23

鳥取大学 地（知）の拠点整備事業

- 現在は研究室との連携がほとんど
- 地域に出て活動する科目が教養科目としてあるが、受け入れ側の定員等により10人以下の少数の学生しか参加できないのが実情



鳥取環境大学 鳥取学

- 鳥取の歴史、文化、自然環境等について半期を通して学習していく
- 今の鳥取市について知っていくための授業を盛り込むことはできないか



鳥取環境大学 とっとり麒麟地域活性化P F

- 地域に興味を持ってもらうため、カリキュラムの中に地域の課題解決などを盛り込む
- 学生が2年間（四期）のうち一度は必ず地域へ出るような科目を取得することを目指す



新しい科目設立の提案

- 地域産業入門
 - 1-2年向けの教養科目としてどんな学部の学生でも受講できる
 - 二度の地域見学実習を踏まえて知識だけでなく鳥取を見てもらう
 - 鳥取で働く人の生の声を聴くことで鳥取に興味をもってもらう

2016/2/23

若者会議（Bグループ）

■メンバー名簿 ◎グループリーダー ○サブリーダー

◎吉田 侑浩

○石川 淳史

田中 藍 北谷 萌 倉光 貴史 吉岡 諄美

■活動テーマ

若者による地方創生政策推進組織の設立

■会議等開催実績

○グループ会議等

平成26年度 8月17日、9月27日、11月29日、3月25日

平成27年度 4月2日、4月22日、5月20日、6月14日、6月25日、
7月22日、9月5日、9月30日、10月22日、11月12日、
12月10日、1月22日、3月17日、3月22日

○活動内容（主なもの）

- ・鳥取市各エリアにある、さまざまな魅力あるディープなスポットの情報調査
- ・鳥取環境大学学生に対するアンケート調査 等

鳥取市への提言書

若者による地方創生政策推進組織の設立

■提言に至った経緯

私達、若者会議 B グループは、「若者による自主的・自律的な運営による会議で、本市の現状を学びながら次代のまちづくりを共に考える」という若者会議の目的の下、鳥取市の魅力を若者に発信するというテーマで、平成26年6月より活動を開始した。

まず、鳥取市に協力していただき、鳥取市について情報を集めた。その活動の中で、鳥取市には自然・食などの魅力がたくさんあることが分かったが、私たち自身はその魅力の多くを知らなかったことから、鳥取市に住む若者もそれらを知らないのではないかと考えた。

若者が鳥取市についてどのような考えを持っており、鳥取市の魅力に気付いてもらうためには若者会議として何をすればよいかを検討するため、鳥取環境大学の学生に意識調査を行った。

その結果から、まずは若者に鳥取市の魅力を発信するための組織が必要であると考えた。若者に効果的に情報を発信するためには、若者目線で取り組むことが重要であり、私たち若者会議がその役割を担うことができれば効果のある情報発信ができるのではないかと考えた。

さらに、現在鳥取市において、若い世代の移住・定住を促進する活動に力を入れる考えがあると聞き、情報発信の目的を若者の移住・定住の促進とすることで、鳥取市にもプラスとなると考えた。

しかし、現状の若者会議では、意見の汲み取りにおいて鳥取市との結びつきが弱く方向性に迷いが生じやすい、提言を行っても鳥取市が積極的に実行できない、メンバーが変わってしまうと活動の継承がされにくいなどの課題点があるため、これらの課題を解決する必要がある。そのため、これらの問題をクリアし、若者の移住・定住を促進するような情報発信ができる新しい組織として、新しい若者の組織が必要だと考える。

■提言内容

1. 組織像

若者への情報発信等を通じて、鳥取市への移住・定住の促進に的を絞り、事業の実施を前提として、地方創生の主役となる若者、中でも将来的に出産・子育ての中心となる女性の視点を大切に、より良い政策となるよう、市とともに企画・立案・実行を行っていく。

鳥取市への若者の移住・定住の促進のために、若者を中心とした組織を設置し、さまざまな事業を行う。企画コンテスト等により、若者が共感できるようなアイデアを抽出するとともに、有識者の専門的な意見でより効果のある事業を提案し、鳥取市との積極的な連携で若者の意見を市政に反映することを目的とする。

2. 組織構成

運営にあたっては公募・推薦による若者メンバーを核とし、テーマに応じてオブザーバー（有識者）等を置き運営する。政策企画課、担当課とともに事業の企画段階から関わる。

また、参加者の入れ替わりが発生する中、継続的な活動が可能な組織として運営していく。

■ 構成員

- ・若者（主に大学生、女性目線も積極的に取り入れる必要がある）
- ・有識者（フォロー係 数人）

基本的には若者だが、さまざまな視点からの意見が出るようなメンバー構成を目指し、年齢以外の制限は設けない。任期が長期間であるとそのことを負担と覚えることも考えられるため、任期は1年とし希望があれば再任可とすることで、活動に積極的な若者の長期間の参加を目指す。

そのため、複数年度の参加が期待できる若者（大学生であれば1年生）に多く参加してもらえよう募集する。また、女性の目線も重要であるため多くの女性の参加も目指す。

さらに、専門的な知識が必要になったり、若者だけでは議論が逸れてしまったりということも考えられるため、フォロー役として有識者に参加していただくことも必要と考えられる。

■ 活動内容

最終的な目標は移住・定住の促進であるため、単なる情報発信だけの活動ではなく、さまざまな体験や活動を通して鳥取市への理解を深めてもらうような活動をする必要がある。

そのため、大きく3つの係に分けて活動を行う組織とし、段階的に活動を行う。1つ目は、鳥取市の情報発信を行い、多くの人が鳥取市の魅力を「知る」ことを目的として活動する。2つ目は、知ってもらった鳥取市の魅力を情報を交流会やツアーを開催することで「体験する」ことを目的として活動する。3つ目は、移住・定住に繋がる商品開発や情報の定期配信などにより移住・定住を「動機づける」ことで鳥取市への移住・定住者を増やすことを目的として活動する。この3つの柱の下での活動をブラッシュアップしていくことで、より多くの若者の移住・定住を目指していく。

- ・「知る」担当係（数名）

目的	鳥取市の魅力などの情報発信
業務内容	1 ホームページ作成、運営
	2 その他の手段による情報発信
	3 他係を含む活動情報の発信
	4 新組織次期メンバー募集

・「体験する」担当係（数名）

目 的	鳥取市の魅力を実際に体験し楽しむためのイベント等企画・運営
業務内容	1 交流会の企画 2 鳥取市魅力体験ツアー等の企画・運営

・「動機づける」担当係（数名）

目 的	移住・定住に繋がる商品開発や情報の作成
業務内容	1 若者目線による情報開発 2 移住情報の定期配信 3 他の移住促進組織との連携

実際の活動に当たっては、市の担当課と連携することが望ましいと考える。若者だけで活動しようとすると、やり方を一から探したり、似た活動を市が行っていたりということがあり、非効率な面がある。最初から市と連携することを前提に活動することで、若者はアイデア出しや、実際の活動に集中することができるため、効果的だと思われる。

■企画コンテスト

複数年度にわたり、若者に参加していただき活動する組織であることから、事業の継続性や若者が複数年参加できるような仕組み、モチベーションを保つための方策が必要である。私たちは若者会議としての活動を通して、現在の若者会議ではこれらの課題を必ずしもクリアできるものではないと考えた。中でも自分のやりたいことができるということは大きなモチベーションにつながるが、活動の初期段階を内容の決定に費やしてしまうのはもったいないという面もある。そこで、自分のやりたいことを次年度にするための企画コンテストの実施を提案する。

- ・メンバーそれぞれがやりたい・やってほしいことを発表し、メンバー全員で次年度の活動として決定する企画コンテスト（コンペ）を行う。これにより、若者の自由な発想を活動に取り入れることができ、また、採用されればメンバーのモチベーションアップにつながると考える。さらに、実際に活動するために、次年度もメンバーとして参加したいと考えるようになることも期待できる。
- ・具体的には、メンバーが活動に慣れ、活動が軌道に乗り始めると考えられる中期にコンテストを開催するのが望ましいと考える。また、メンバーの主となる大学生の試験、休暇等を考慮し、7～9月間に開催するのが望ましいと考える。

3. 平成28年度の活動

鳥取市の移住・定住を促進するための組織の概要は前項のとおりであり、その活動内容については前年度の構成員が次年度の活動内容を考え決定するものであるため、平成28年度から活動を開始するにあたっては、初年度の活動内容について方針を決定しておく必要がある。そこで、スムーズなスタートのため、私たち若者会議 B グループが初年度の活動内容を提案する。

■内容

平成28年度の活動は情報発信に絞って、ホームページ等の作成をする。環境大学の学生に行ったアンケートの結果によると、普段、どの媒体から情報を得ているかという問いに対し、「インターネット」と回答した学生が一番多く、回答全体の約38%だった。次にテレビと回答した学生が多く、約28.1%だった。このことから若者が普段の生活を送るうえで大きな情報源となっているものの一つがインターネットであると分かる。しかし、鳥取市公式ウェブサイトなどでは、イベント情報などの若者が知りたい情報が一目でわかるようなサイトがなく、自身が積極的に情報を集めなければ目的の情報を手に入れることが難しい。アンケート調査でも、鳥取市のイベント情報等はあまり伝わっていないのではないかと思われる。私たち自身の印象としても、知りたいことに対して、ホームページのどこを見たらいいのかわからないことが多いと感じた。

このような問題を解決するために、単純に分かりやすく、また、興味のなかったことでも知ってもらえるような工夫をしたホームページを作成する必要がある。そのホームページの作成を新組織が担うことで、特に若者が見やすく、興味を持ってもらえるような情報発信ができると考える。

最終的な目標は移住・定住につながる情報発信であるため、まずは鳥取市の移住・定住情報の一つにまとめたウェブサイトを作成する。鳥取で移住と探した時に、一番に見てもらえるようなウェブサイトの作成を目指す。そこに若者目線から、より見やすくする工夫、興味のなかった人でも見ってもらえるような工夫を重ねていくことが必要である。

具体的にどうするか

- ・情報を一つにまとめたサイトを作成
- ・広報室、地域振興課との連携。
- ・まとめサイトに観光情報などの分野でまとめてもらい、リンクを踏んだら作成したサイトに飛ぶようにするなどの若者向けの工夫を。
- ・ホームページレイアウトは見やすさを重視し、知りたい情報がすぐ手に入るような作りとする。
- ・年度後半には、次年度（29年度）のメンバー募集方法も考え情報発信。
- ・雇用についても各所と連携し、情報を得ることができるようにする。

■具体的なスケジュール

以下のとおり、情報発信に絞ってウェブサイトの作成・運営、その他情報発信を行う。この活動と並行して、メンバー募集方法の検討や次年度の活動内容決定のための企画コンテストなど、組織の活動を次年度につなげるための活動を行う。

年	月	全体の動き	情報発信	次年度活動方針
H28	4月	メンバー募集		
	5月	新組織スタート	・ウェブサイト作成 各種調査 発信内容の検討 レイアウト調整	企画コンテスト準備
	6月			企画コンテスト実施 結果を基に次年度活動内容を協議・決定
	7月			
	8月		・ウェブサイト公開・調整	結果を基に次年度活動内容を協議・決定
	9月			
	10月		・その他情報発信方法の検討・実践	次年度企画準備
	11月			
12月		・次年度メンバー募集方法の検討など		
H29	1月			
	2月	メンバー募集	活動の総括	
	3月		次年度に向けての準備	

若者による地方創生政策 推進組織の設立

提言に至った経緯

- ・鳥取市の魅力的な情報を発信したい！
→ 魅力があっても若者に伝わっていないのでは？
- ・鳥取市では若い世代の移住・定住促進に力を入れている？

**若者の新しい組織による
移住定住の促進**

提言内容

若者による新組織の設立

- 1 組織像
- 2 組織構成
- 3 平成28年の活動内容

1 組織像

- ・ 若者への情報発信を通じて鳥取市への移住・定住の促進に的を絞った活動
- ・ 若者の自由な発想で、若者が共感できるようなアイデアを抽出する
- ・ 有識者の意見・鳥取市との積極的な連携で若者の意見をできる限り市政に反映する

2 組織構成

構成員

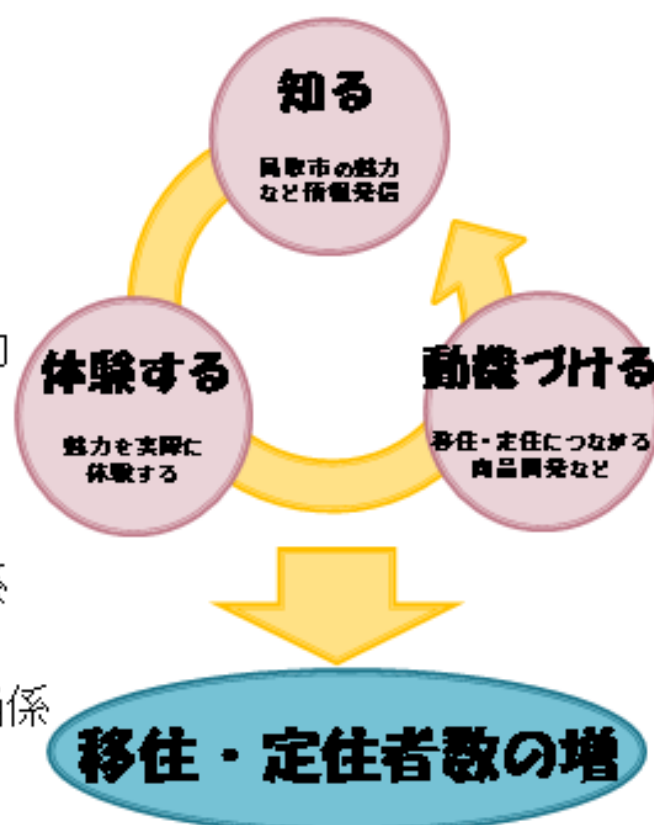
- ・若者
主に大学生、女性のメンバーを多く
- ・有識者
専門的な知識や議論のフォロー役として

2 組織構成

活動内容

3つの係による活動

- ・「知る」担当係
- ・「体験する」担当係
- ・「動機づける」担当係



2 組織構成

企画コンテスト

メンバーによる「次年度にやりたい事業」の発表会を行い、自分たち次年度の活動内容を決定する

- ・ 若者の自由なアイデアを採用できる
- ・ 自分のやりたいことが実現することによるモチベーションアップ、次年度の参加が期待できる

3 平成28年の活動内容

平成28年度から活動するにあたって、活動内容を若者会議Bグループが提案

大学生へのアンケート結果から、

インターネットを利用しての情報発信をすべき

- 移住・定住の情報が一目でわかるウェブサイトの作成
- ・ 鳥取市の様々な移住情報を一つにまとめる
 - ・ まとめサイトの活用など、移住に興味のない人にも見てもらえる工夫

3 平成28年の活動内容

ウェブサイトを活用した情報発信と並行して、以下の活動を実施

- ・ その他情報発信方法の検討・実践
- ・ 次年度メンバーの募集方法の検討
- ・ 企画コンテストによる次年度活動の決定

おわりに

- ・ 移住・定住促進に若者目線からの提案
- ・ 若者に自由な発想・意見をしてもらう方法
- ・ 参加する若者のモチベーションを保つ工夫

これらの点に注意しつつ、活動していくことが重要